

安全帯使用の見える化

MITEL (ミテル)



サンリョウ株式会社

墜落・転落災害の現状

2024年3月7日現在

2023年 労働災害死亡事故 : 死亡者数 194人
事故原因 第1位「墜落・転落」

上位産業ベスト3

①建設業 81人 ②三次産業 51人 ③陸上貨物運送事業 25人



: 死傷者数 20,490人

上位産業ベスト3

①三次産業 7,720人 ②建設業 4,502人 ③陸上貨物運送事業 4,170人

建設工事従事者の安全及び健康の確保の推進 に関する法律（建設職人基本法）2016年12月16日制定

- ☆建設工事の請負契約における経費の積算・明示・支払い
- ☆下請け関係の適正化
- ☆労働保険関係の状況把握の促進
- ☆現場の安全性の点検・分析・評価
- ☆安全に配慮した設計、省力化・生産性向上に配慮した材料・資機材・施工方法の開発・普及

墜落・転落災害の防止対策の充実強化

- (1) 労働安全衛生法令の遵守徹底等
- (2) 墜落・転落災害防止対策の充実強化

安全帯使用の見える化とは・・・

安全帯のフックが適正に使われているか、使われていないかを見極める事が重要なポイント



安全帯フックが体から外れて適正な安全対策を行っている作業者を判るようにする



フック適正使用作業中の作業者を光らせ目立たせる



☆安全作業中であるということが判る☆

監視の が人を助ける！

*** 気の緩みからヒューマンエラーは発生します**

見ている人がいれば、サボる事も手を抜く事も出来ません！
監視の目が光っているからこそ、人は正しい行いをするんです！

見ている人は誰か？

1. 同じ現場で働く仲間 
2. 現場を管理する監督者 
3. 仕事を発注してくれた方 
4. 現場周辺に住んでいる近隣住民の方 
5. 通りすがりの一般人・・・など 

緊張の糸をつなげるために、監視の  を
いい意味で利用する。それが「MITEL」です！

MITELの仕組み

フックの重みだけで ON・OFF自動切替



フックが本体に掛かっている
時はOFF状態
(作業前 or 不安全作業状態)

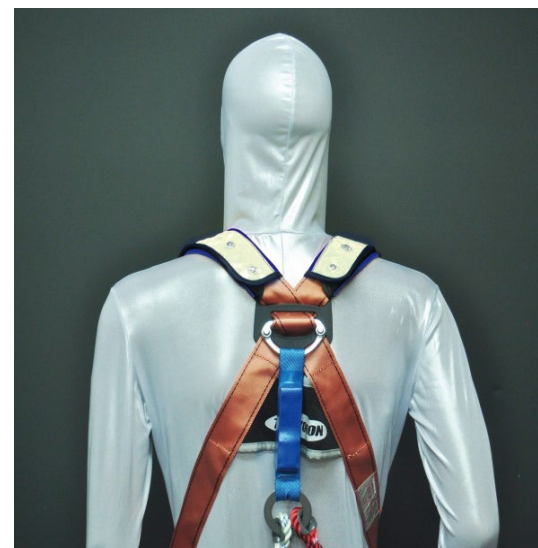


フックが本体から離れている
時はON状態
(安全作業中)⇒ **グリーンLED**点滅



GENTI MITEL(肩パッドタイプ)

ハーネス使用作業者向け
(2丁掛け管理)



1セット＝本体2個・肩パッド2個



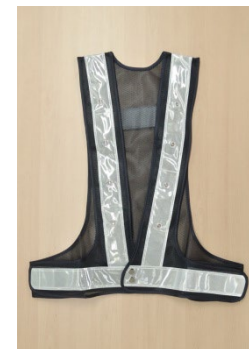
1パッドLED4球

GENTI MITEL(ベストタイプ)

腰ベルト使用作業者向け
(1丁掛け管理)



1セット＝本体1個・ベスト1枚



ベストLED前面8球・背面8球

MITEL肩パッドタイプ装着における注意点

ハーネス安全帯はメーカーによって付属品等の仕様が異なります。特に、D環(フック収納部)の位置が肩付近に無かったり、樹脂製のフック掛けが腰の位置にあったりします。

D環が脇腹付近にある



フック掛けが腰に付いている



D環が胸付近横にある



そんな時は、D環(フック収納)位置を変更する必要があります。

オプション品＝フックハンガー

簡単に後付けする事ができます



商品情報

* 点滅球はグリーンLED

(パッド=4球、ベスト=前面8球・背面8球)

* 本体・ベスト・パッドは 防滴仕様

* 重量

本体=160g 、 パッド=55g 、 ベスト=300g

* 電池寿命

パッド 連続150時間以上 (ボタン電池2個)

ベスト 連続300時間以上 (単3電池2本)

* 視認性(ベストタイプ 自社独自調査)

昼(日向)	確認限界距離	40m・・・	鮮明確認距離	20m
-------	--------	--------	--------	-----

(日陰)	確認限界距離	100m・・・	鮮明確認距離	80m
------	--------	---------	--------	-----

(直射)	確認限界距離	20m・・・	鮮明確認距離	5m
------	--------	--------	--------	----

夜	確認限界距離	350m・・・	鮮明確認距離	200m
---	--------	---------	--------	------

NETIS登録 KK-170006-A

1.工事成績評定で加点評価の対象に

施工者の提案によって国土交通省直轄工事でNETIS登録技術を活用した施工を行った場合に、工事成績評定点における加点評価の対象となります。コスト削減や工期短縮の実現などによる質の高い施工実績を残すことで、次回の入札に有利となる評価を得られます。

※2006年9月から運用開始

2.総合評価方式での加点評価の対象に

価格と技術提案の優劣を数値化して落札者を判定する「総合評価落札方式」において、請負者がNETIS登録技術を採用した技術提案を行うことで、技術評価点の向上が見込めます。

※2007年から各地方整備局ごとに順次運用を開始